



信濃町初のマスコットキャラクター「一茶さん」のお披露目

劇中で、旧5小学校の一茶句碑を紹介



生誕 250年の最後を飾る

小林一茶 187回忌全国俳句大会

11月19日、一茶の命日に、菩提寺の明専寺で法要が営まれ、一茶記念館では、全国俳句大会が開催されました。特に今年は、一茶生誕250年を記念して、信濃小中学校3年1組の歌劇「一茶さんの悲しさと優しさ」や、俳人宇多喜代子さんの講演も行われ、たくさんの聴衆でにぎわいました。また、信濃町初のマスコットキャラ「一茶さん」の着ぐるみが完成し、会場の「一茶さ～ん」の呼び声を受けて登場。そのかわいらしさに歓声が上がりました。

4 万年前の地層に触れる

信濃小中学校6年生「地層学習」

11月8日、信濃小中学校6年生は、校舎周辺で地層学習をしました。校舎の北西側の斜面で、ナウマンソウ博物館の中村学芸員から、校舎の真下と同じ地層についてお話を聞き、その後、スコップをそれぞれ持ち、実際に地層を観察しました。また、鳥居川の岸辺に行き、岸辺の石をかなづちで割り、中身を見たり、珍しい石を拾いました。長い年月をかけて、出来上がった地層に触れて、子どもたちは何を感じたのでしょうか。



別荘地内の山林火災を想定して

野尻地区で消防団総合演習を実施

11月10日、小雨が降る中、野尻の大本道地区の北側に広がる美山郷別荘地内で、信濃町消防団総合演習を実施しました。訓練では、昨年に続き、水利のない別荘地での山林火災を想定し、ポンプ車・積載車を連結して送水の訓練を行いました。出勤まで発生地点を伏せる「ブラインド訓練」を採用し、地元の第一分団長の無線による指揮の下、より実戦に近い形で訓練を行いました。機械の操作、情報の伝達を改めて確認した意義のある訓練となりました。

姉妹都市の流山市で特産品をPR

第34回流山市民祭りに出店

10月27日、姉妹都市である千葉県流山市の市民まつりに、町・観光協会・商工会などが参加し、信濃町ブースを出店しました。式典では、来賓として松木町長が挨拶しました。ブースでは、乳製品、おやきなどの農産物や特産品の販売と、観光案内を行いました。信濃町ブースは、たくさんの方で賑わいを見せ、流山市の市民のみなさんに信濃町をPRすることができました。



優秀賞に選ばれました

長野市消防局が募集した、標語入り防火ポスター

長野市消防局が、防災意識を高めようと毎年募集している、「標語入り防火ポスター」のコンクール。今年も信濃小中学校の児童・生徒が応募し、信濃小中学校5年生の加藤緋梨さんの作品、「大きな炎は小さな火から」のポスターが、4～6年生の部で優秀賞に選ばれました。作品は11月7日～20日の間、長野市役所第一庁舎2階のギャラリーに展示されました。

AC長野パルセイロに勝利

AC長野パルセイロと柏原保育園の園児が交流

11月19日、長野広域連合の「出張スポーツ交流事業」により、サッカーチームのAC長野パルセイロのチーム関係者と柏原保育園の年長29名が、サッカー交流を行いました。当日は、寒い日でしたが、AC長野パルセイロの皆さんも驚くほど、園児たちは元気でした。ボールを使った運動後、ドリブルやシュートを教わり、最後にAC長野パルセイロ対園児のミニゲームをやりました。結果は3-2で園児たちが勝利しました。すぐに打ち解けて、「もっとやりたい」や「また来てね」との園児の声が聞こえました。



将来の自分へ、志を立てる

信濃小中学校8年生「立志式」

11月8日、信濃小中学校8年生の「立志式」が、来賓、保護者の見守る中、行われました。立志式とは、かつての元服にならない将来への決意や目標をたてる行事です。一人ひとりが壇上に上がり、「座右の銘」として立志の思いを記した色紙と、立志の決意を堂々と発表しました。生徒たちは、これまでの自分を振り返り、理想の自分への一歩として、勉強のこと、部活のこと、将来のこと、また、これまで育ててくれた家族への感謝の言葉を、力強く語りました。